

総合戦略の概要と二宮町人口ビジョンについて

1. 総合戦略策定の背景となる地方創生の取組みについて

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生（※）に関する施策を総合的かつ計画的に実施する。

※まち・ひと・しごと創生：以下を一体的に推進すること。

まち…一人一人が夢や希望を持ち、豊かな生活を安心して営める地域社会の形成

ひと…地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保

しごと…地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

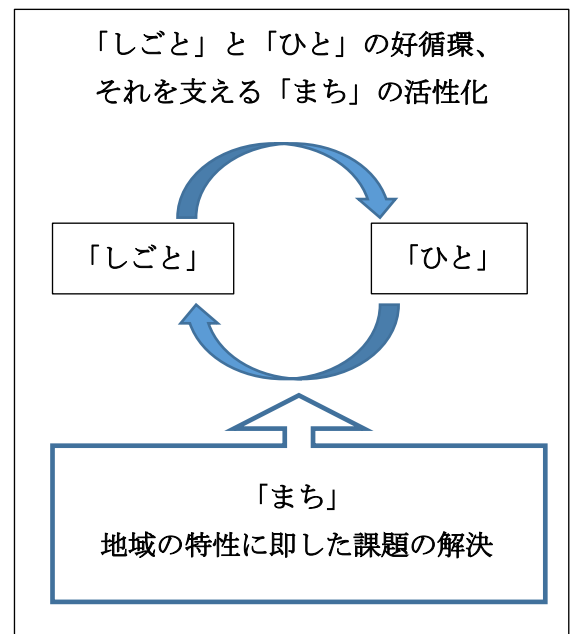
基本的考え方

基本的視点

- (1) 若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- (2) 「東京一極集中」の歯止め
- (3) 地域の特性に即した地域課題の解決

基本目標

- ① 地方における安定した雇用を創出する
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する



⇒基本的視点を踏まえた効果的なまち・ひと・しごと創生を実現するため、地域の特性に即した処方箋（地方版総合戦略）が必要。

2. 二宮町の特性を把握するための二宮町人口ビジョン概要

①人口減少と少子高齢化が進展(p2)

- ・総人口は平成 11 年（1999 年）以降、減少傾向にあり、平成 72 年（2060 年）には平成 22 年（2010 年）と比べ約 5 割減少。
- ・高齢者人口の割合は、平成 27 年（2015 年）には 31.5%まで増加する一方、年少人口の減少は今後も続く見通しで、進行する少子高齢化への対応が課題。

②自然動態・社会動態ともに減少傾向(p4)

- ・自然動態の内訳は、平成 15 年（2003 年）以降、死亡数が出生数を上回る状況が続き、少子高齢化の影響で、今後も自然減少の傾向に拍車がかかることが推測される。
- ・社会動態の内訳は、社会移動の大半は 20～40 歳代の若年世代によるものだが、近年は 0～14 歳人口が転入超過していることから、ファミリー層は転入超過と考えられ、いかにして若年世代の定住を促すかが課題。

③二宮町の強みを活かし、多様な人々から選ばれるまちへ(p6)

- ・居住地の選択について、20～40 歳代は、「住宅の条件」や「両親や親族等が近くに居住している」ことを決め手として町に転入している一方、「通勤・通学時間」や「住宅に関する条件」、「買い物の利便性」を決め手として、町から転出。
- ・町に戻る希望がある転出者の約半分は、「二宮町の近くに職があれば」再び転入する意向。

④若者が結婚・出産・子育てしやすい環境づくり(p8)

- ・町の平成 25 年（2013 年）合計特殊出生率は 1.19で、県平均と比べて低い水準。
- ・15～49 歳の女性人口割合、有配偶率、有配偶出生率は、いずれも低下傾向。
- ・町の出生率を回復させるため、金銭的負担や高齢で出産することへの懸念、仕事などへの影響をできるだけ少なく取り組みが必要。

⑤経済価値を生み出す産業と生活者の利便性を支える産業の基盤づくり(p10)

- ・町の主要産業は小売業、医療・福祉業だが、主要産業も含めた町の産業の労働生産性は低く、全体的に衰退傾向。
- ・町は住宅都市の特徴があるが、生活者の利便性を支える卸売業・小売業、飲食サービス業、生活関連サービス業、医療・福祉などで、生産性の向上と町内における人材の確保が必要。

●人口の将来展望 (p27)

- ・将来の年齢構成を考慮しつつ人口減少を緩やかにするため、子どもを産み育てやすい環境をつくり、町外に情報発信することで、ファミリー層などの転入を促進する必要がある。
- ・出生率を 2.07 まで回復させるとともに、社会移動を 0 にし、平成 72 年（2060 年）において、町の人口を 17,000 人以上とすることを目指す。

3. 国の総合戦略（第1期）の概要

中長期展望	基本目標	主な施策
<p><u>I. 人口減少問題の克服</u></p> <p>◎2060年に1億人程度の人口を確保</p> <p>◆人口減少の歯止め</p> <p>◆「東京一極集中」の是正</p>	<p><u>地方における安定した雇用を創出する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●若者雇用創出数（地方） ●若い世代の正規雇用労働者等の割合 ●女性の就業率 <p><u>地方への新しいひとの流れをつくる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●地方・東京圏の転出入均衡 	<p>①地域産業の競争力強化</p> <p>②地域産業の競争力強化</p> <p>③地方への人材還流、地方での人材育成、雇用対策</p> <p>①地方移住の推進</p> <p>②地方拠点強化、地方採用・就労拡大</p> <p>③地方大学等創生5か年戦略</p>
<p><u>II. 成長力の確保</u></p> <p>◎2050年代に実質GDP成長率1.5～2%程度維持</p>	<p><u>若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会を達成していると考えられる人の割合 ●第1子出産前後の女性継続就業率 ●結婚希望実績指標 ●夫婦子ども数予定実績指標 	<p>①若者雇用対策の推進、正社員実現加速</p> <p>②結婚・出産・子育て支援</p> <p>③仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現（「働き方改革」）</p>
	<p><u>時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域連携数など 	<p>①「小さな拠点」（他世代交流・多機能型）の形成支援</p> <p>②地方都市における経済・生活圏の形成（地域連携）</p> <p>③大都市圏における安心な暮らしの確保</p> <p>④既存ストックのマネジメント強化</p>

4. 町の総合戦略（第1期）の概要

基本 目標	施策	プロジェクト
1 安心な暮らしを守り、住み続けられる地域をつくる		
	1-（1）	公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
	1-（1）- i	公共施設の総合的マネジメントプロジェクト
	1-（1）- ii	大規模公有地の有効活用プロジェクト
	1-（2）	誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり
	1-（2）- i	高齢者がいきいきと暮らせる生活支援プロジェクト
	1-（2）- ii	みんなで健康づくりプロジェクト
	1-（3）	地域コミュニティの醸成支援
	1-（3）- i	みんなで地域コミュニティ再生・活性化プロジェクト
	1-（4）	災害や犯罪に備える地域づくり
	1-（4）- i	地域の力で災害に強いまちづくりプロジェクト
2 二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる		
	2-（1）	「にのみや Life」の提案と発信
	2-（1）- i	「にのみや Life」プロモーションプロジェクト
	2-（1）- ii	空き家を活用した定住希望実現プロジェクト
	2-（1）- iii	親・子・孫の同居・近居実現プロジェクト
	2-（2）	二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
	2-（2）- i	みんなの二宮を知ろう・学ぼうプロジェクト
	2-（2）- ii	生涯学習センター・ラディアン交流拠点化プロジェクト
	2-（3）	特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成
	2-（3）- i	子どもたちの「生きる力」創造プロジェクト
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる		
	3-（1）	子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり
	3-（1）- i	子ども・子育て家庭への切れ目のない支援実現プロジェクト
	3-（1）- ii	子どもを安心して預けることのできる保育・子どもの居場所づくりプロジェクト
	3-（2）	子育てと仕事の両立の推進
	3-（2）- i	子育て世代のワーク・ライフ・バランス実現プロジェクト
4 二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる		
	4-（1）	地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり
	4-（1）- i	二宮町での起業・開業応援プロジェクト
	4-（2）	町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討
	4-（2）- i	再生可能エネルギー事業の起業支援プロジェクト
	4-（3）	身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出
	4-（3）- i	二宮で働きたい人の就業応援プロジェクト
	4-（3）- ii	就農・地産地消応援プロジェクト